

## 足利流 5S (「整理」→「清掃」→「整頓」→「清潔」→「躰」)のすすめ

ー第1回世界 5S サミット 2012 で考えるー

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今週の月曜日・火曜日・水曜日に、足利市で「第1回世界 5S サミット 2012」が開かれました。5S とは、整理・整頓・清掃・清潔・躰という業務改革といいますか、改善活動の1つで、一番大事なものです。開倫塾創業の地で、開倫塾本部のある栃木県足利市の足利商工会議所には、「足利 5S 学校」というものがあるって 5S の普及活動が極めて盛んだということで、日本国内のみならず世界中から毎週のように視察の方が訪れます。そこで経済産業省サービス政策課の前田課長から、街づくりの一環として「世界 5S サミット」を開催してはどうかという提案があり、11月5日・6日・7日に実施となりました。私は実行委員会の副委員長を仰せつかり、5S サミットにずっと参加しておりました。そこで今日は、「第1回世界 5S サミット 2012」の様子をお話したいと思います。
3. フィンランド大使館、中国、モンゴル、アフリカなどから参加者があり、驚いたことに、マレーシアからは 11 名もの代表団がおいでになり、5S について日本人の参加者の皆さんと一緒に勉強してくださいました。全体では 300 名以上の参加があり、すばらしい第 1 回目の世界大会となりました。
4. 5S の具体的な内容をお話すると、「整理」とは要らないものを捨てることです。5S というと、普通は整理の次に「整頓」がくるのですが、足利流 5S では「清掃」がきます。「整理」で要らないものを捨てて、綺麗に片付けるということが第 2 番目に入るのです。そして、第 3 番目として決まったものを決まったところに置くという「整頓」をする。そのあと第 4 番目として「整理」・「清掃」・「整頓」の状態を保ち続けるようにします。これを「清潔」といいます。このように、最初に「整理」、2 番目に「清掃」、3 番目に「整頓」、4 番目に「清潔」が入り、第 5 番目として最後は「躰」となります。前の 4 つの S を自分の意志、考えで行いましょう。人に言われなくても自分でいましょうというのが 5S の第 5 番目の「躰」です。
5. 上から目線といいますか、職場の上司から「これをやりなさい。5S をしなさい」と言われて強制的にやるのではなく、「みんなで楽しみながら、また、考えながら、長続きさせながらゆっくりゆっくりとやれることをやりましょう。報告書などはいらない。とにかく現場を綺麗にしましょう。整理・清掃・整頓・清潔をしましょう。自分たちの考えでしましょう」というのが足利流の 5S の考えです。この足利流の 5S はやらされ感がなく、だれもが自分たちで自主的にやれるので非常に長続きします。また、楽しくできるので、世界でも珍しい、極めて特色のある 5S だということでこの「第1回世界 5S サミット 2012」が開かれました。

6. 今年も、5S のインストラクターの方が 10 名認定されました。その中には社会福祉施設の方、印刷会社の方、給食センターの方、足利市役所の方、医師会の方、商工会議所の職員の方、機械製作所の方、アルマイト会社の方などがいらっしゃいます。驚くべきことに、栃木県立足利工業高校や栃木県立足利清風高校の先生も学校を 5S で運営しようという高い志のもとに 5S に取り組んでいて、5S インストラクターとして認定されました。このように街をあげて、製造業だけでなく学校までも取り組む非常に珍しい 5S ということで、足利の 5S 活動は日本だけでなく世界の注目を浴びつつあるとのこと。また、経済産業省のサービス政策課長で現在自動車課の課長さんになった方が応援してくださり、経済産業省も全面的にバックアップし、国をあげて応援されている 5S 活動です。
7. 「第 1 回世界 5S サミット 2012」の第 1 日目は、主催者や木村先生という 5S の指導者の先生、5S に取り組んでいる皆さんのお話を聴いたあとに、外国からの参加者を含む交流パーティーと足利フラワーパークの花のイルミネーションを見学して終わりました。2 日目は市内で熱心に 5S に取り組んでいるところ、事業所、学校、市役所などに見学に行き、3 日目は足利市内の観光名所を巡りました。とてもアットホームであり、充実した大会でした。
8. 放送をお聴きの皆さんにもぜひ 5S について興味を持っていただきたいと思います。また、子どもの家庭の教育、社会教育にも 5S は大事だと思います。家庭や社会でも小さい頃から「整理」する習慣をつけ、必要な物はとっておくが不要な物は分類して処理をする。そのあと、部屋を綺麗に掃除、「清掃」する。また、カバンの中の必要なものはとっておき、必要なくなったものは処分してカバンの中を綺麗に片付ける。それから、部屋の机の中や上を綺麗にして、必要なものだけを残してあとは全部処分する。そのあと「清掃」する。「清掃」が終わったら、決まったものは決まったところに置く。自分のカバンの中の定位置を決め、例えばここには鉛筆入れを、ここには教科書を、ここにはノートを置いて忘れものがないようにしようと思えば、勉強が本当によく進みます。また、机の上を片付けて、ここにはこれを置いて、ここにはこれを置こう、要らないものは全部処分しようという形にすると、勉強が非常に進みます。さらに、本棚は部屋の中のここに置いて、本棚のここにはこれを置こう、これは要らないから捨てようと思わず「整理」をし、それから掃除、「清掃」をする。このように「整理」→「清掃」→「整頓」をずっと続けるのが「清潔」です。すがすがしくなり「清潔感」が漂います。このように、他人に言われなくても自分の意志で自分で考えて自主的に進んで「整理」「清掃」「整頓」「清潔」を行うことを、「5S」では「躰」と呼んでいます。家族に言われてではなく自分の力でやるようになれば自主的な力がつき、子どもたちのためになります。
9. このように、子どもにも、大人にも、つまり、すべての皆さんのためになるのが 5S です。5S の最初の S は「整理」で、要らないものは捨てる。次の S は「清掃」で、整理したあとは綺麗にする。3 番目は「整頓」で、決まったところに決まったものを置く。4 番目の S は「清潔」で、1 番目から 3 番目の S を続ける。最後の S は「躰」で、誰かに言われるのではなく自分の力でやる。これが「足利流の 5S」の内容です。
10. 「世界 5S サミット」の第 1 回大会が足利市で開かれ、私もその実行委員の一人として参加させていただきましたので、今日はその紹介をさせていただきました。放送をお聴きの皆さんもぜひ身近なところから 5S に取り組んでいただき、お子様にも少しずつ教えていただければと思います。